

第1回 エックス線被ばく事故検討WG 議事概要

1. 開催日時：2021年8月6日（金） 午前9時00分から午前9時58分
2. 開催場所：Zoomを用いたオンライン開催
3. 出席者：（順不同、敬称略）
飯本武志、古渡意彦、山口一郎、榎本 敦、小嶋光明、小田啓二、川島恒憲、中村美和、浜田信行、辻本 忠、橋本 周、秋吉優史
4. 紹介資料
資料1
2021年5月に発生した事故に関する公開情報
資料2
エックス線被ばく事故検討WGにおける課題の整理
5. 議事
 - (1) WG開催に係る委員長挨拶
飯本委員長からWG開催に係る挨拶がなされ、7月14日に開催された理事会の決定事項に基づき、WG設置の趣旨や活動方針の説明があった。
 - (2) WG開催に関する方針及び留意点
古渡副委員長より、本WGに関する以下の開催方針及び留意点の説明があった。
 - 本WGでは、当面は公開情報を用いて検討を進めることとする。
 - 議事概要や用いた資料は学会コミュニケーション委員会を通じて公開する。
 - WGとしての具体的な活動、意見交換にはメーリングリスト等を利用せず、原則、WG会合の場に限ることとする。
 - 委員からの意見に基づき、以下の事項が合意された。
 - ✓ 議事概要を公開後に、日本保健物理学会と日本放射線安全管理学会の会員にそのことを通知する。
 - ✓ 次回以降、各委員からの情報提供や意見共有の機会として1時間程度の会合を繰り返し、その後、テーマを絞って、意見交換や議論のためのより長い時間の会合を設定する。
 - (3) エックス線事故に関する概要の紹介（調査報告）
資料1に基づき、山口幹事から事故に関する公開情報の現状調査結果が報告された。
 - 当該施設からの法令に基づく報告の後、厚生労働省から関係各所へ迅速に事実が公表され、その後、メディア各社独自の報道がなされていた。
 - 国際原子力機関のINES Newsには現時点で関連の公開情報はなく、関係機関や業界団体からの関連する情報や見解等も示されてはいない。
 - (4) WGにおける今後の検討課題の整理
資料2に基づき、古渡副委員長から本WGにおける今後の検討課題が説明された。

- 飯本委員長より、しばらくは公開情報の限られる状況が予想されることから、当面本 WG では課題を一般化した検討を進め、対象の業界に留まらずに俯瞰的にエックス線利用時の潜在的なリスクを調査するとともに、これまでの安全管理の想定や対応が十分であったかどうかを後に検証できるよう、必要となる情報を整理していきたいとの発言があった。
- 委員からの意見に基づき、以下の事項が合意された。
 - ✓ WG での情報や資料を適切に共有し、アーカイブ化するために、学会としてシェアフォルダなどのプラットフォームを提供いただけないか、検討をお願いすることとした。
 - ✓ 2000 年以降に限ると INES での関連の事故報告例は 500 件程度になるが、まずは網羅性を意識することなく、できる範囲で情報収集を進めることとした。
 - ✓ エックス線に関する事故やトラブルの潜在的な全体像を把握するために、軽微な事象も含めて幅広く事例を収集することとした。

(5) その他

- 次回第 2 回 WG は 8 月 13 日（金）9-10 時に開催する。
- 次回より、参加各委員から、順次に関連の情報提供をお願いすることとした。

以上